

遺伝カウンセラー の現状





遺伝カウンセラーの現状 @アメリカ

■ 状況

- 全米 約4,000人
- 正称：Certified Genetic Counselor
- Cancer Genetics, Prenatal, Pediatric, Genetal Genetics, Adult, Cardiologyなどの専門領域がある
- 病院（各領域、検査オーダー管理）、ラボ（commercial, in house）、大学、企業（保険会社関係）、行政など職場・職務は多岐に渡る
- 遺伝カウンセラー単独の外来をもっていることが多い
- Genetic Counseling Assistant（またはGenetic Counseling Administrator）が遺伝カウンセラーの補佐業務を行う
- 人気の職業であり、求人は至るところにある
- 少し前まではclinical genetic counselorが主流であったが、近年企業や行政で働くnon-clinical genetic counselorが急増している

■ 待遇

- 年収：平均約810万円 新卒：600-700万円（アシスタント：350万円）
- 病院：経験に応じてGenetic Counselor I, II, IIIなど昇格制度、Mentor制度を設けている病院もある
- 企業：在宅勤務を選択することができる場合もある、高給



遺伝カウンセラーの現状 @アメリカ



■ 遺伝カウンセラー養成コース

- 1969年～, 現在39の養成コース
- 生物学・心理学（学士）→Genetic Counselor Assistant→ 遺伝カウンセラーコース（2年間, Master of Science）→ 認定試験受験→州のライセンス申請・取得
- 入学試験の倍率は約10倍。2018年度より、最終合否判定はマッチングシステムを利用して行っている
- 出願時に受験者に求められているもの（例）
 - 陪席の経験, 遺伝カウンセラーアシスタントの経験, カウンセリングの経験など
 - 大学の成績
 - 基礎的な生物・遺伝関連授業を学部時代に履修していること

■ 認定証（2種類）

- ABGC (American Board of Genetic Counseling)の試験に合格することによって認定遺伝カウンセラー(Certified Genetic Counselor(CGC))として認められる。5年更新
- 認定試験：合格率約75-85%（毎年2月と8月にコンピューター上で実施。全200問, 4時間。面接なし。受験当日に合否が出る。）
- 各州の認可を得るとLicensed Certified Genetic Counselor(LCGC)となる。更新年数は州ごと。



遺伝カウンセラーの現状 @アメリカ

■ 課題

- 現在遺伝カウンセラーは白人女性が95%を占め, 多様性に欠けている
- 遺伝カウンセラーが少ない州があり十分な遺伝医療を提供できていないところもある
- ライセンスがない州がある, 勤務地変更で州のライセンスを取り直す必要がある
- 企業と病院間の給料の格差
- 遺伝カウンセリング時に保険に関する情報の提供・確認に時間を割かなければならないことも多い



遺伝カウンセラーの現状 @イギリス

■ 状況

- 約400人
- 正称：Registered Genetic Counsellor
- 厳密な専門領域はないが、主に担当している領域がある
- 病院に勤務（private clinic勤務は稀, 昔はよく家庭訪問に行った）
- 血縁者の検査は、遺伝カウンセラー単独の外来をもっていることが多い

■ 養成

- 2004年～2015年：England (2コース), Wales (1コース), Scotland (1コース), 入学試験倍率3-4倍
- 生物学・心理学（学士）→ 遺伝カウンセラーコース（2年間, Master of Science）→ 2年間研修→書類（ログ, エッセイなど）を提出 →Registered Genetic Counsellor
- 5年ごとに更新が必要（ログの提出など）
- 2016年～, England(STPコース), Wales (1コース), Scotland (1コース), 3年間のコース

■ 待遇

- 病院（国）に雇用されているので国家公務員扱い
- Band7 新卒平均年収: おそらく500万円

■ 課題

- 国家資格ではないため看護師よりも収入、年金が少額
- Scientist Training Program(STP)ができ職種のすみわけがどのようになるか未知



遺伝カウンセラーの現状 @フランス

■ 状況

- 約180人
- 正称：conseiller en génétique
- 専門領域はない (general)
- 大都市のpublic病院のMedical Genetic部門, またはCancer Centerに勤務
- 医師の責任の元で遺伝学的検査を行うことが法律で定められている
- 病院によるが遺伝カウンセラー単独の外来をもっていることが多い

■ 養成

- 2004年～, 現在1コース (Marseilleのみ), 入学試験の倍率は約5-8倍
- 理系, 医師を目指していた人 → 遺伝カウンセラーコース (2年, Master of Science)
→ コース修了 = 登録

■ 待遇

- 新卒の平均年収：約300万円 (手取り)
- 取得済み学位 (修士/博士) に応じた給料

■ 課題

- 低賃金, 遺伝カウンセラー全体の給料体系の改善
- bioethicsの法律を遵守しなければならない
例) 遺伝学的検査の結果を血縁者に必ず伝えなければいけない



遺伝カウンセラーの現状 @オーストラリア

■ 状況

- 約300人（ニュージーランドとオーストラリアの合計人数）
- 正称：certified genetic counsellor
- 病院, ラボ, 大学など職場・職務は多岐に渡る

■ 養成

- 1990年代初頭～, 現在2コース(University of Sydney, University of Melbourne)
- “caring role”の経験があることが望ましい（看護師、臨床心理士、その他医療従事者の経験があることが望ましい）→遺伝カウンセラーコース（2年間, Master of Science）→2年間研修→書類（ログ, エッセイなど）を提出→certified genetic counsellor

Ormond et al., 2018. Genetic counseling globally: Where are we now?, Am J Med Genet C Semin Med Genet. 178(1):98-107. より